

花と緑の情報をお届けします

take free

グリーン・スケッチ

# Green Sketch

2012年 春号 No.48

contents

特集

## 新潟市の「食と花」を 楽しみながら学べる

しよくいく はな いく  
～新潟市食育・花育センター～

- 4 にいがた春の散歩道
- 5 植物に親しむ
- 6 読者の広場
- 7 緑花センター掲示板

にいがた「緑」の百年物語に  
参加しています。

100

# 新潟市の「食と花」を楽しみながら学べる

## 新潟市食育・花育センター



オープン時の様子

今号では、平成23年10月15日にオープンした、新潟市食育・花育センター（以下、食育・花育センター）を紹介します。

### 食と花を一体的に学ぶ場として

全国で初めて「食と花を一体的に学ぶ場」として建てられました。食や花に関する体験を通して、豊かな心や体の健康づくりを市民の皆さんに広げることが目的にした施設です。

新潟市は近隣の14市町村との合併により食料自給率60%を超える「大農業都市」となりました。水稲の収穫量、チューリップ切花・球根や花木（鉢物）の出荷量などが全国市町村の第1位となるなど、様々な農作物が栽培されています。これらの農作物や花卉などの生産地であるとともに、人口約81万人を有する大消費地であることが、他の政令指定都市にはない新潟市の特色となっています。

そこで、食育・花育センターを拠点として、家庭や学校、地域での食育・花育活動が盛んになるよう、様々な取り組みを行っています。

### 食育・花育センターの概要

食育・花育センターは、新潟市内にあつて豊かな自然を残す鳥屋野潟の南部にあります。

約2.2haの敷地に、食育・花育センターの本館と農舎、各種見本園、花畑、体験農園、多目的広場、育成温室があります。

鉄筋コンクリート造り2階建ての建物には、市内最大級の調理実習室や、食の体験展示コーナーや情報展示コーナー、アトリウム、講座室などを備えています。

また、屋外には、新潟で育てることができる様々な植物を展示している見本園や花畑、農業体験ができる体験農園などがあります。



## 食育・花育センターの取り組み

大きく4つの事業(食育の推進、花育の推進、農村都市交流の推進、食と花による交流の推進)が行われています。

そのうちの1つ、花育推進事業では、アトリウムや屋外見本園などにおいて季節に応じた新潟市ならではの草花、花木、樹木などを植栽し、来園者にくつろぎの空間を提供するとともに、市民が家庭や地域で「花や緑」を育てるための見本園として展示しています。屋外の見本園には、新潟の気候に適した植物が約400種、植栽されています。ご家庭で育てる植物を選ぶ際の参考となります。

この他、園芸相談業務や園芸講習会、展示会の開催、花育関連情報の発信を行っています。また、新潟市内の学校、職場、市民団体などの要請に応じ、団体などが実施する花育活動に対して、花や緑の専門家「花育マスター」を派遣する事業も行っています。



### 園芸相談業務

一般市民を対象に樹木や草花などの手入れや病害虫の防除など、家庭園芸全般について来園や電話による園芸相談を行います。



園芸相談の様子

園芸相談専用電話はこちら  
 ニワニヨイハナ  
**025-282-4187**  
 (受付日は休館日を除く毎日)

### 花育関連情報の発信

食育・花育センター内において、新潟市産の花、「花や緑」を生活に取り入れる方法、市内の花育活動などの情報を展示します。

花育総合情報サイトの運営、花育通信の発行を行い、花育の普及啓発を図ります。



いいがた花育通信

### 園芸講座、展示会の開催

園芸講座や、園芸に関する市民団体などが日頃の活動の成果を発表できる場として展示会を開催しています。



親子クリスマス飾り作り講座の開催

### 花育マスターの登録、派遣

花や緑に関する専門家を「新潟市花育マスター」として登録し、学校、職場、市民団体などが行う活動の講師として派遣します。

### その他の3事業

食育の推進	農村・都市交流の推進	食と花による交流の推進
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「いいがた流 食生活実践事業</li> <li>●食育推進計画推進事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●都市型グリーン・ツーリズム推進事業</li> <li>●農業サポーターシステム推進事業</li> <li>●子ども農業体験推進事業</li> <li>●米粉普及PR事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●季節に応じたイベント開催 (平成23年度は開園記念イベント、クリスマスフェスタ等を開催)</li> </ul>

## 食育・花育センターの隣接施設

現在、食育・花育センターのとなりでは建設工事が行われており、平成25年春に「(仮称)動物ふれあいファーム」と「(仮称)こども創造センター」が開園予定となっています。産業振興センター側のエリアには、「(仮称)食と花のいいがた交流センター」が平成26年春にオープンの予定です。

新たな施設は、小動物や乗馬体験などの動物とのふれあいや、子供たちの体験と学びの場として整備されます。また、交流センターには、レストランや直売所などができるそうです。

### 最後に

JR新潟駅から車で15分程、日本海東北自動車道や北陸自動車道、磐越自動車道の新潟中央ICが近く、アクセスのよい場所にあります。また、このエリアには、県立鳥屋野潟公園、天寿園、新潟市産業振興センター、新潟テルサ、新潟市民病院などの施設が集まっています。東北電力ビッグスワンスタジアムやハードオフエコスタジアムのある新潟県スポーツ公園へも歩いて10分ほどの場所となります。現在建設中の施設が完成すると、新潟市の新たな賑わいスポットになりそうです。

**食育...** 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な心と身体、豊かな人間性を育む取り組みを市民運動として進めます。

**花育...** 花や緑の多様な機能に着目し、花や緑を教育、地域活動などに取り入れる取り組みです。



# 食育・花育センターの主な施設をご案内します！

## 情報展示コーナー

“にいがた流 食生活のすすめ”や新潟市の花の生産量についてなど、食育・花育に関する知識・情報を分かりやすく紹介しています。



## アトリウム

新潟市・県産材をふんだんに使い、木のぬくもりが感じられるセンターのシンボリックな空間です。吹き抜けとガラス張りですっきりと開放感があります。展示エリアでは、新潟市産の花を中心に季節に応じた植物を展示しています。



## 調理実習室

市内最大の規模を誇り、子ども用から本格仕様まで、調理器具などが充実しています。センター主催の料理教室は毎回大好評です。施設の貸出も行っています。

## 食育・花育 相談・図書コーナー

食と園芸に関する書籍・資料を多数そろえています。専門の相談員が、皆さんの疑問・質問にお答えします。

## 講座室

120名収容可能な施設で、各種講座の開催のほか、貸出も行っています。

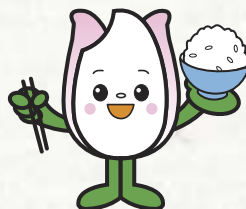
## 食の広場・花の広場

センター2階の2つの屋上庭園です。「食」と「花」の広場があり、「食の広場」は、キッチンガーデンとして、野菜をはじめ、料理やハーブティーに利用できるハーブを栽培しています。



## 食の体験展示コーナー

食材の選び方から、栄養バランス、食事のマナー、生産者の工夫や熱意などを、ゲームや映像で楽しく紹介しています。



## 花畑

オープンの際は、コスモスが一面に咲いていました。春は花畑を中心にチューリップ6万4千球が開花する予定です。

## 新潟市食育・花育センター

住所:新潟市中央区清五郎401番地 TEL:025-282-4181

開館時間:午前9時～午後5時

休館日:月曜日(月曜日が休日の場合は、直後の平日)、年末年始

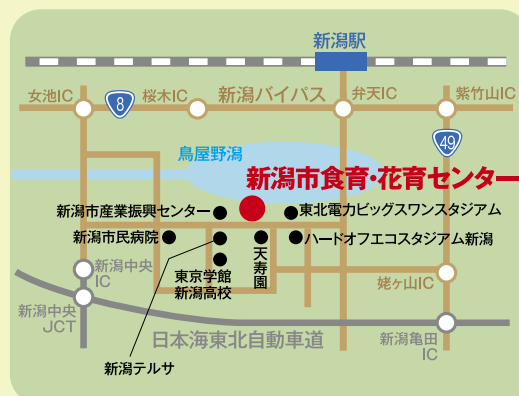
入場料:無料

駐車場:無料  
約100台(バス3台駐車可能)

### 交通アクセス

車で  
北陸自動車道 新潟中央ICから車で約5分

バスで  
JR新潟駅南口バス乗り場1番から「新潟市民病院行き」「新潟市民病院経由曾野木ニュータウン・大野行き」天寿園前下車徒歩約10分



実際に見て、知って、  
にいがたの  
食と花の魅力  
を学ぼう!





## 雪椿まつり

●開催日●

平成24年4月8日(日)～29日(日)

昭和41年にユキツバキが「新潟県の木」に指定されたことをきっかけに、昭和42年から「雪椿まつり」が始まりました。毎年4月の見頃にあわせ加茂山公園で開催されます。休日には雪椿大園遊会や市民茶会などたくさんの行事が開催されます。

にいがた  
春の散歩道

# 加茂山公園

## 加茂山公園

住所:加茂市大字加茂228

休園日:年中無休

入園料:無料

駐車場:無料、100台

注)公園周辺は駐車場が少なく混雑します。  
できるだけ公共交通機関でおいでください。

URL <http://www.city.kamo.niigata.jp/section/toshi/>

問合せ先:加茂市都市計画課

TEL0256-52-0080

加茂山公園は、青海神社を中心に加茂山に広がる15.35haの自然豊かな公園です。「新潟県の木」となっているユキツバキが、ここ加茂山公園に多く自生していることから、「加茂市の花」にも指定され、親しまれています。県内有数の群生地として知られており、春には約5万本が咲き誇ります。雪椿園では園芸品種を中心に約100種、1300本をご覧いただけます。

4月はユキツバキと桜の両方を楽しめるお花見スポットとして、秋には紅葉が訪れる方を楽しませてくれます。また、園内には江戸時代に植林された杉の巨木があり、加茂市指定の文化財「翁杉」を見ることが出来ます。この他にも公園内には多数のスポットがあり、家族連れや散策客などで賑わいます。

青海神社の近くに、通称「池の端」と呼ばれる4つの池があり、八つ橋、水車、東屋が設けられています。池の周りにはベンチや売店があり、噴水や錦鯉を眺めながら休憩できます。

雪椿園へ向かう坂道の途中には、全国から公募された彫刻作品16点が配置されていて、散策しながら観賞できます。雪椿園に隣接して児童公園があり、さらに山手に進むと子ども達に人気のリス園、大型スライダー(全長150m、標高差32mのローラー式すべり台)があります。

## 加茂山公園の 人気スポット



リス園入口

シマリス



以前、情報誌のアンケートで県内の動物と触れ合える公園を募集したところ、多くの方から加茂山公園のリス園を推薦していただきました。こちらもあわせてご案内します。

### ●加茂山リス園

約100匹の「シマリス」を飼育しており、雨の日を除いて60匹ほど園内に放し飼ひしています。人になれたシマリスは、ヒマワリの種を手のひらに置いてじっとしていると、やってきて種をほおぼります。小さなシマリスたちの様子は見るだけで楽しいです。

皆さんにお願い…シマリスを追いかけたり、つかまえたりしないで下さい。それとシマリスがびっくりするので大声をださないで下さいね。

開園期間:4月第1日曜日から11月23日まで ※冬眠中は休園します

開園時間:10時～16時(6～8月は17時まで) 入園料:無料 休園日:毎週月曜日(月曜日が祝日の時は翌日が休園)



# ツバキ

## 植付け

幼木は日陰でも育ちますが、成木は日なたを好みます。水はけのよい場所を選びます。根鉢の2倍以上の穴を掘り、底に腐葉土を入れます。その上に元肥としてマグアンプKと掘り出した土、腐葉土を混ぜたものを入れ、たっぷり水を与えます。

植付けは3~4月と、6月~7月、9月下旬~10月が適期です。植え付け後しばらくは寒冷紗(日よけ)などで遮光します。

## 水やりと肥料

水のやりすぎは根ぐされの原因となります。植付け時に十分に水を与えておけば、ひどい乾燥が続かない限り、水やりの必要はありません。

冬に乾燥した風が当たる場所では、南側をあけて寒冷紗などで防寒をします。肥料は11月頃に寒肥として、5~6月頃に花後のお礼肥として化成肥料や油かすなどを施します。

## さし木

最も手軽に増やす方法で、梅雨時期が適期です。

さし穂は春に伸びた新しい枝を10~15cmくらいの長さで、葉が3~4枚ほどついたものを選びます。枝を切ったら、すぐに切り口を水につけ、30分ほど水あげします。その後、先端から3枚程残して下の葉は切り、さし穂をつくります。それを用土(排水のよい川砂など)にさし、直射日光のあたらない半日陰の場所に置きます。

## 整枝・剪定

生育とともに、枝や葉が混みあってきます。そのままにしておくと、風通しや日当たりが悪くなり、よい花が咲かなくなります。時期は花後に行います。

まず、枯れた枝、飛び出した枝などの不要な枝を取り除きます。その際、葉や芽のすぐ上で切ります。枝を間引くことで、通風や日照がよくなり、病虫害を予防できます。

## 苗を買う

開花期に花を見て購入するのがよいでしょう。選ぶときのポイントは、枝が太く、葉に光沢があり、病虫害がないなど、苗全体の様子をよく観察して選びましょう。

## 鉢植えで楽しむ

鉢植えに花をたくさん咲かせるコツは、花芽ができる6月から7月にかけて水やりの間隔をあけてひかえめにすること。それ以降は通常の水やりに戻します。

## 摘蕾、花がら摘み、摘果

花や実をたくさんつけると木が消耗し、翌年の花数が減ってしまうことがあります。これを防ぐため開花前に、木全体で3分の1ほどのつぼみを手で取ります。

植えた年には花を我慢して、すべてのつぼみを摘み取ってしまうことをおすすめします。1年だけ花を我慢すれば、木の生長も良く翌年の花つきも格段によくなります。

また、花が散ったり枯れたりしたあと、実がつく前に花がらを柄ごと摘み取ります。ただし、花後すぐ剪定する場合は必要ありません。実がついた場合は、摘果します。

# 植物に親しむ

ツバキはツバキ科ツバキ属の総称です。日本をはじめ、中国、朝鮮半島などに分布します。日本の代表的な花木で、昔から園芸観賞用として親しまれてきました。現在では、さまざまな園芸種があり、世界中で愛好されています。今回は、ツバキの育て方を紹介します。

日本原産のツバキのなかで代表的なものはヤブツバキとユキツバキです。ヤブツバキは常緑中高木で、海岸地帯を中心に日本に広く分布しています。ユキツバキは、秋田県から滋賀県北部にいたる日本海側の山地の多雪地帯に自生しています。

## 主な病虫害

- すず病…すず病はカビの一種で、葉の表面がすすがついたように汚くなります。カイガラムシやアブラムシが出す排泄物を栄養源に繁殖するので、これらの虫を退治しましょう。
- カイガラムシ…枝や葉について樹液を吸い、木を弱らせます。ロウ質の殻に覆われているため、殺虫剤を散布してもあまり効き目がありません。少量ならば、歯ブラシなどでそぎ落とします。
- チャドクガ…発生は4月下旬から5月、7月下旬から9月上旬の2回。幼虫が葉の裏に密集し、葉を食害します。成虫や幼虫、抜け殻の毛に触れると、ひどいかぶれを起こします。発生時期には注意して、早めに駆除しましょう。

## 県立植物園「春の大つばき展」のご案内

平成24年4月6日(金)から4月8日(日)

会場: 県立植物園  
花と緑の情報センター  
(入館無料エリア)

\*園内のツバキ園では、ヤブツバキの園芸品種も見られます。



つばき展

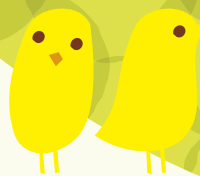
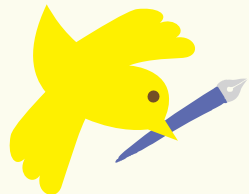
## メモ

豪雪地帯に咲くツバキが一般的なツバキと別種のものだとわかったのは昭和20年代のことです。そこで、降雪地帯に咲くツバキをユキツバキとし、その他のツバキをヤブツバキと呼ぶようになりました。

新潟県では、昭和41年に全国的に展開された「県の木」制定運動で「ユキツバキ」が県の木に選ばれました。(昭和41年8月27日制定)

# 読者の広場

皆様からお寄せいただいた  
情報誌の感想などを紹介します。



**長** 岡市緑花センター花テラスの  
情報がありがたかったです。  
新しくできた事を知らなかったの  
ですが、今度訪ねてみようと思います。

(アンケートハガキより)  
上越市 井本さん



**植** 物というと、つい花の色、美  
しい形、葉の色・形に先に目  
がいいますが、「植物に親しむ」で  
の芽の形のいろいろな紹介があり、  
芽にも特徴のあることを知りまし  
た。観察力を養いたいものだと思  
います。

(アンケートハガキより)  
加茂市 中山さん

**冬** 芽の写真をとても興味深く  
拝見しました。我が家の落葉  
樹もすっかり裸木となり、これはこ  
れでシルエットに趣きがあります。  
晴れた日には冬芽にも注目してみよ  
うと思います。

(アンケートハガキより)  
新潟市 竹田さん

## comment

前号で冬芽や葉痕の観察を取り上げたところ、  
沢山の方から感想をお寄せいただきました。  
ありがとございました。冬芽や葉痕には、動  
物の顔に見えるようなものがあります。こう  
いった面白さを通して、身近な植物にも興味を  
持っていたらと思います。

## comment

自分の住んでいる市町村以  
外の情報は、あまり知る機会  
が少ないですね。前号では  
長岡市緑花センター、今号は  
新潟市食育・花育センターを  
紹介しています。県内の花と  
緑に関する様々な情報をこ  
れからもお届けしていきたい  
と思います。



**植** 物についてはほとんど聞  
心がありませんでしたが、  
紹介された写真の植物、それぞ  
れ顔があるように見え、面白  
いものでした。

(アンケートハガキより)  
阿賀野市 豊島さん

**落** 葉のしくみはわかりやす  
くて孫たちにも説明して  
やりたいと思います。マメ知識  
は冬芽の写真と併せてとても分  
かりやすく参考になりました。

(アンケートハガキより)  
新潟市 村山さん

教えて  
ください!

## 新潟県内で皆さんがオススメする 街路樹や並木を教えてください!

皆さんのお住まいの地域などにある、緑豊かな街路樹や美しい並木を教えて  
ください。所在地、樹木の種類、理由も教えてください。綴じ込みハガキの④  
に記入して、お送りください。ファックスやEメールでも受付けています。住  
所、氏名、電話番号を明記の上、下記までお寄せ下さい。掲載にあたり趣旨は  
変えませんが若干の手直しをさせていただくことがあります。なお、掲載させ  
ていただいた方には粗品を進呈します!どしどしお寄せください。\*ここで言う街  
路樹とは...市街地の道路に列状に植えられた樹木を指しています。

●FAX.025-257-8766 ●e-mail center@greenery-niigata.or.jp  
(e-mailでのおたよりは添付形式にせずにお送りください)

締切:5月10日(消印有効)

## comment

前号の散歩道では、三条市の保  
内公園の熱帯植物温室を掲載し  
ました。これからの季節は園内  
を散策するのもおすすめです。  
斜面にある東屋からまちを一望  
できます。

二 条からの帰り道、保内の熱  
帯植物温室の建物が見え、  
行ってみたいと思いつつ素通りでし  
た。20年も前に一度見学した記憶  
があります。今度はサークルの仲  
間で出かけてみようと思います。  
入園料無料はありがたいですね。

(アンケートハガキより)  
五泉市 山下さん

## 47号『植物クイズ』当選者発表

正解は①でした。

当選者は以下の方々です。  
おめでとうございます。

立花 純子さん(新潟市)  
細貝 孝二さん(長岡市)  
山崎 美代子さん(三条市)  
佐藤 勝さん(南魚沼市)  
小柳 裕子さん(燕市)

写真は何の木でしょう。古くから花木として親しまれてきました。中国北部～朝鮮半  
島にかけて分布するマメ科の落葉樹です。日本では樹高2m～5mの低木状に育ちま  
す。自生地では10mを越す高木になるといわれています。4月下旬頃、葉を出す前に、赤紫  
色で蝶の形をした花が数輪まとまって枝の節々に咲きます。満開時期は花が枝を覆  
います。葉は基部が少し切れ込んでハート型になります。



- ①ムラサキシキブ
- ②ブツレア
- ③ハナズオウ

答えを綴じ込みのアンケートハガキにご記入のうえ、  
50円切手を貼ってお送りください。  
正解者の中から抽選で5名様に1,000円分の花と  
緑のギフト券を進呈します。

締切:5月10日(消印有効)

クイズの答えと当選者は次号に掲載します。

\*記入いただいた個人情報は、感想等の掲載・当選者の  
発表と景品の発送、および今後の誌面づくりの参考と  
してのみ利用します。

このコーナーでは、緑花センターの事業紹介や緑花センターが指定管理者となっている県立公園の情報をお届けします。



昨年のチューリップ展

## 公園 news

公園からのお知らせなどをご紹介します。詳細については、各公園事務所や主催者へ直接お問い合わせください。

### 新潟県立植物園

新潟市秋葉区金津186番地

観賞温室企画展 会場:観賞温室(温室入館有料)

- 「チューリップ展」平成24年3月7日(水)から4月8日(日)
- 「シャクナゲ・ツツジ展」平成24年4月11日(水)から5月27日(日)

※月曜日が休館日。ただし、月曜日が祝日の場合は、翌日が休館日。臨時休館あり。  
※土日祝日は小中学生温室入館無料

学校行事での利用は温室入館料無料です!

観賞温室の入館料は下記の場合、割引になります。ぜひ、ご利用ください。

- 小中学校の遠足や校外学習などの場合…児童・生徒、引率の先生が無料。
- 県内保育所及び幼稚園の行事の場合…園児、引率職員の方が無料。

この他の割引制度についてはお問い合わせください。ホームページでもご覧いただけます。

春の植物園まつり  
5/4(金・祝)、5/5(土・祝)開催!

問合せ

新潟県立植物園 TEL0250-24-6465 <http://botanical.greenery-niigata.or.jp>

### 新潟県スポーツ公園

新潟市中央区清五郎

東日本大震災復興を祈念  
して打上げ花火を予定

にいがたカナル彩 4月30日(祝・月) 午前9時から開催!

- 内容:ステージイベント、県内農業・総合高校生産物販売、体験教室、飲食物販コーナーなど

イベントに関する  
お問合せ

新潟県都市緑花フェア  
スプリングフェスティバル

TEL025-280-5440(県都市整備課)  
TEL025-245-3020(新潟市駅南まつり協賛会)

問合せ 新潟県スポーツ公園 TEL025-286-1080 <http://www.niigata-sportspark.jp/>



昨年の様子



### 南相馬市の小中学校に アザレアを贈呈しました

東日本大震災の被災地の子どもたちを花で励まそうと、平成24年1月20日(金)に社団法人新潟県公園緑地建設業協会と当センターで、福島県南相馬市に鉢花を贈呈しました。これは、昨年同協会が開催したチャリティーイベントなどで集めた資金をもとに、新潟市秋葉区産のアザレア300鉢を用意したものです。写真は、南相馬市立鹿島小学校での贈呈の様式です。

南相馬市教育委員会の青木教育長さん(中央)、門真事務局長さん(一番左)、県公園緑地建設業協会の丸山さん、原さん(右)、当センターの中山(左から2番目)で記念撮影

### 緑花センター 事務局からの お知らせ

### 第8回都市公園・まちなか緑花写真コンテスト入賞作品決定

今回は、2部門で129点の応募がありました。ご応募いただいた皆様、本当にありがとうございました。厳正な審査を経て、3月10日(土)午前10時30分より、春のイベント“フラワーウェーブ新潟”の会場にて表彰式を行いました。なお、平成24年度も引き続き開催いたしますので、新潟県内のまちなかや公園の花緑の写真を撮影して、どしどしご応募ください。

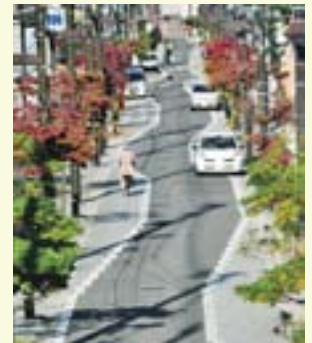
#### 入賞作品展スケジュール

- 平成24年3月9日(金)～3月11日(日)  
フラワーウェーブ新潟 (新潟市西区山田2307 新潟ふるさと村)
- 平成24年3月13日(火)～4月1日(日)  
県立植物園観賞温室第3室2階(新潟市秋葉区金津186) ※要入館料、月曜休館
- 平成24年4月24日(火)～5月13日(日)  
新潟県スポーツ公園レストハウス (新潟市中央区清五郎)

この他の日程、次の開催要項は当センターホームページでご案内いたします。



都市公園部門 新潟県知事賞  
「のびやか」太田誠二



まちなかの緑花部門 新潟県知事賞  
「秋化粧の街路」小川雅文

グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、図書館、病院などに配布しています。直接配布を希望の方は下記連絡先「情報誌係」までご連絡下さい。



郵便はがき

おそれいりますが  
50円切手を  
お貼りください。

9 5 0 - 0 9 3 3

新潟市中央区清五郎58番地

財団法人

新潟県都市緑花センター

情報誌係 行

キリトリセン

ふりがな					
ご氏名					
ご住所	〒				
電話番号	(	)	—		
性別	男・女	職業	1.会社員	4.自由業	7.専門・各種学校生
年齢	歳		2.公務員	5.主婦	8.その他
			3.自営業	6.大学・短大生	( )

※ご記入いただいた個人情報は、感想等の掲載・当選者の発表と景品の発送、および今後の紙面づくりの参考としてのみ利用します。

注)おそれいりますが50円切手をお貼りください。

**1** 本誌をどちらで手に入れましたか。○をつけてください。

図書館 病院 市町村役場 その他( )

**2** 本号の中で面白かった記事に○をつけてください。

- 1.特集 新潟市の「食と花」を楽しみながら学べる  
新潟市食育・花育センター
- 2.にいがた春の散歩道
- 3.植物に親しむ
- 4.読者の広場
- 5.緑花センター掲示板

**3** 本号の感想などをお聞かせください。

.....

.....

.....

**4** 新潟県内で皆さんがおススメする街路樹や並木についての情報を紹介してください。

.....

.....

**植物クイズ(P.6)の答え>>>**

正解だと思う番号を記入してください。

※クイズの締め切りは5月10日(木)消印有効です。

※クイズの応募はお1人につき1枚とさせていただきます。

※お寄せいただいたご意見等は「読者の広場」に掲載させていただく場合がありますので、ご了承ください。

グリーン・スケッチ

Green Sketch